

# 4 報告事項 (2) 中間報告について

## 【諮問】

春日部市地域づくり推進協議会条例第3条の規定により、「市民センターを拠点とした地域づくり」について、貴協議会の意見を求めます。

## 課題選定の経過 ① 社会情勢をもとに

・日本各地を襲う“地震”などの災害

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会

● 中間報告 ●



震源地	震度	被害
茨城県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
千葉県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
東京都 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
埼玉県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
群馬県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
栃木県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
茨城県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
千葉県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
東京都 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
埼玉県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
群馬県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし
栃木県 (MAG2.1)	震度 1	被害なし



参照：朝日新聞ほか

## 課題選定の経過 ② 「自治会」の現状

・自治会加入率の減少

【春日部市】  
自治会連合会加盟自治会：198自治会  
加入率：全体の51.7% (10年前比13.3%減)



【粕壁地区】23自治会  
総世帯数：23,466世帯  
加入率：39.8% (10年前比17.2%減)

自治会、都内で6年間に144減 「役員の負担重すぎる」相次ぐ解散

「役員やりたくない」40～50代5割超 「このままではどんどん減る」年々低下する自治会加入率、負担感の大きさや不公平感が課題に

12/16(土) 7:10 配信 444 信濃毎日新聞デジタル

参照：朝日新聞、信濃毎日新聞、静岡新聞ほか

変容する地域社会  
うつりゆく粕壁  
それでも、残すべきものは  
“地域のつながり”



1973



2031(目標)



1995

変容する地域社会  
うつりゆく粕壁  
それでも、残すべきものは  
“地域のつながり”



昭和37年(1962)  
国道4号一宮交差点



かつての新町橋周辺  
(吉利根川)



昭和63年(1988)  
粕壁小学校



第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
●中間報告●

### 課題選定の経過

## ③社会情勢×自治会


～遠くに住む親戚よりも…

・地域で、何ができるか。いま、何をすべきか。

各委員に意見を求め、集約！

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
●中間報告●



粕壁地区地域づくり推進協議会

### 市長の諮問により 委員の皆様から意見収集した際のテーマ

- テーマ1  
粕壁市民センターを拠点とした  
粕壁地区の目指すべき理想の姿について
- テーマ2  
理想の姿を実現するための具体的な  
取組について
- テーマ3  
その他

粕壁地区が目指すべき  
理想の姿と  
具体的な取組について

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
●中間報告●

### 各委員からのご意見を [6つの項目]に分類しました

- ◆課題① 地域コミュニティの活性化
- ◆課題② 粕壁市民センターの活用
- ◆課題③ 地域の特色を生かした取り組み
- ◆課題④ 防災・防犯
- ◆課題⑤ 積極的な情報発信
- ◆その他の意見や提案

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
●中間報告●

## 課題① 地域コミュニティの活性化

主な意見の要点

- ア) 日々の生活の潤いにつながる学びと  
人とのふれあいができる場所であるとよい
- イ) 子どもから高齢者まで、誰もが気軽に立ち寄り、語り合い、互いを理解し合う、  
そんな温かな地域社会を、市民センターを中心として築いていってほしい

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
●中間報告●

## 課題② 粕壁市民センターの活用

主な意見の要点

- ア) 同じ粕壁地区といえど、遠方(元新宿、川久保、大池 等)からは使用しないと思われる。
- イ) 遠方の人たちには、大きなイベント時には来てもらえるようにするとよい
- ウ) 近隣の人たちが利活用することはもちろん、誰でも気軽に市民センターを利用でき、活動の中心となる場所となしてほしい
- エ) 防犯面で何かあった際に安心して逃げ込めるような建物を意識し、ライトアップ等も検討してほしい
- オ) 公民館の貸出方法がよくわかっておらず利用しにくいので、諸手続などを明確化、緩和してもらいたい

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
●中間報告●

## 課題③ 地域の特色を生かした取り組み

主な意見の要点

- ア) 春日部市の強みは、最高のベッドタウンであることだと思う。市民センターや他の公共施設はベッドタウンに欠かせない交流の場、遊び場になりうる
- イ) 地域の歴史や文化を題材とした講座や体験活動をさらに充実させ、地域の魅力を再発見できる学びの場を広げていく
- ウ) 粕壁地区にしかできないもの(こと)を考える。県立春日部高等学校の生徒に発表の機会を提供するなど上手に活用する
- エ) 粕壁地区での新規出店を考える人などに、市民センターのイベント等での出店を呼びかける(地域の企業支援の一助に)

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
●中間報告●

## 課題④ 防災・防犯

主な意見の要点

- ア) 市民センターとしての機能(地域まちづくりの拠点、防災防犯の拠点)を生かした拠点施設にしてほしい
- イ) 首都直下型地震等で、防災・減災が叫ばれている現状から、年1回以上の総合防災訓練を実施してはどうか(対象は粕壁地区全体とする)
- ウ) 市民センター独自に防災用品を確保し、市が保有している防災用品には依存せず、市民センターとして独自に防災倉庫を設置するとよい

### 課題⑤ 積極的な情報発信

主な意見の要点

- ア) 粕壁市民センターは、粕壁地区のことを発信できる場所
- イ) イベント開催時などの認知を高めてほしい
- ウ) 特に大きなイベントの告知を、遠方の人たちにもわかりやすく周知してほしい
- エ) 困ったときなどに、市民センターの「4つの機能」があるということをまず市民に認知してもらおうべき
- オ) 市民主体で、多様な暮らしの課題を解決するためのプロジェクトが進行している。その情報提供など、市民センターや市の各部署はさらなる支援を

### (1) テーマの選定

各委員からの意見をもとに、  
取り組みの方向性について  
【2つの案】を設け、協議



令和8年度における  
粕壁地区の  
取り組みの方向性

## 案① 「防災」



■地域まちづくりの拠点としての「粕壁市民センター」(または地区内の学校や、公共施設等)を会場とし地域課題としての【防災】に着目し、**地域防災**をテーマとした取り組み(事業(催し物))を実施

■会場: 今後、協議・検討予定

■実施に際しては、地区内の各自治会・町会・いきいきクラブ連合会・支部社協等の母体をもとに、地区内の住民、各学校、公民館利用者等に広く周知


案1:イメージ



第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
● 中間報告 ●

令和8年度における  
粕壁地区の  
取り組みの方向性

## 案② 「イベントの 開催」



■子どもから高齢者までがつどい、  
新たな**地域のつながり**(コミュニティ)を  
創造する機会として**舞台演目など**  
**の発表・鑑賞・交流等のイベント**を  
開催する

■会場：粕壁市民センター(中央公民館)

■実施に際しては、地区内の各自治会・町会・い  
きいきクラブ連合会・支部社協等の母体をもとに、  
地区内の住民並びに各学校、公民館利用者等に広  
く周知

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
● 中間報告 ●

### 案2:イメージ







第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
● 中間報告 ●

### 【協議結果(意見集約)】

令和8年度における粕壁地区の  
取り組みの方向性


+

=

「交流イベント」

「防災の取り組み」

“併せて開催できれば、より効果的に実施できるのではないか”

地域防災を  
テーマに、**訓練**など  
とあわせた、  
**文化・交流  
イベント**を  
開催することに  
**決定!**

第3回 粕壁地区地域づくり推進協議会  
● 中間報告 ●

## 中間報告・まとめ

引き続き令和8年度に協議・検討

【令和8年度】  
**防災**の取り組み  
を含めた、  
**文化・交流  
イベント**の  
**開催!**

地域における【交流】の機会創出の一翼を担うイベントに

実施内容の振り返り  
次回の取組みについての協議・検討

【今後の展望】  
継続して実施  
することにより、  
地域に定着し、  
コミュニティの  
**輪**が広がって  
いく!

子どもから高齢者まで、誰もが気軽に立ち寄り、  
語り合い、互いを理解し合う、温かな地域社会を、  
市民センターを中心として築いていけるように